



表彰状を手にする野口さん(左)と上松さん(右)

長年にわたる人権擁護活動に感謝

町人権擁護委員に法務大臣表彰

10月28日、町人権擁護委員として人権尊重意識の普及や啓発活動に尽力した上松美智子さん(市ノ後)と野口泰喜さん(下小谷)が、法務大臣表彰を受けました。

2人は、町の「心配ごと相談」や「寄り添い支援活動」、「中学校でのDV出前授業」など、長年にわたりさまざまな場で活動を行ってきました。

表彰について、上松さんは「この貴重な経験を今後の啓発活動に生かしていきたい」、野口さんは「これからも『相談パートナー』として貢献したい」と話しました。

海難事故をいつまでも忘れない

日奈久沖海難事故慰霊献花式

津森小近くの辻ヶ峰公園で11月5日、日奈久沖海難事故の慰霊献花式が行われました。

事故は1949年11月5日、津森小の修学旅行中に日奈久沖を船で遊覧中だった児童や教師など24人が、転覆により犠牲となったものです。事故から70年目を迎えたこの日、津森小児童や地元区長、当時の同級生や遺族など、約50人が式に参列しました。参列者それぞれが慰霊碑に花を手向け、全員で津森小校歌を斉唱し、犠牲者を弔いました。



津森小校歌を斉唱し、犠牲者を弔う参加者たち



避難所運営ゲーム「HUG」で避難所の運営を模擬体験

地域の災害対応力向上を図る

「防災リーダー養成講座 in ましき」開催

ミナテラスで11月9～10日の2日間、「防災リーダー養成講座 in ましき」を開催しました。

これは、地域の防災リーダーとなる防災士を養成するために開催したもので、町単独で防災士養成講座を開催するのは、郡内で初めてです。

参加者は、全国的に著名な講師たちから、「防災士の役割」「避難所運営訓練」「身近でできる防災対策」などの講義を受けました。全講義終了後には、防災士資格取得試験を実施。新たに59人の防災士が誕生する予定です。



11月17日、熊本地震で被災し建て替えていた、龍池山千光寺(下陳)の落慶式が行われました。同じく修復を終え、県立美術館や九州国立博物館で展示されていた「木造千手観音立像」も千光寺に帰ってきました。厳かに法要が行われた後、広場に場所を移し、来場者たちに豚汁やおにぎりが振る舞われました。